

## 学習指導方針（スクールポリシー）

### 【教育目標】

個性と能力を伸ばし、積極的に自己の啓発に努める心身ともに健全な人間を育成する。

### 【自校の現状・課題】

- 全国大会で活躍する生徒もおり、学校全体で部活動が盛んである。（課題：指導者不足）
- 進路指導・学習指導がとても丁寧に行われている。（課題：進路実績の積み上げ）
- 学校を挙げて地域貢献プロジェクトに取り組んでいる。（課題：生徒・教職員の負担増）
- 地域の深刻な過疎・少子化により、生徒募集が非常に困難な現状である。（課題：生徒減）

### 【地域等からの要望】

- 地域の人材を育成してほしい。（医師・看護師・介護士・教員・公務員・民間人材・起業人等）
- 知徳体の調和のとれた心身ともに健全な人材を育成してほしい。（学力向上及び部活動の活性化）
- 地域の活性化に参加・協力してほしい。（地域貢献プロジェクトの推進）

### 【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など含む）

- ①規範意識を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒。
- ②自他を尊重し、他者と積極的にコミュニケーションをとり協働できる生徒。
- ③文化面や運動面の才能を伸ばし、未来社会の創造・発展に貢献できる生徒。

### 【学習指導方針（スクールポリシー）】

（１）生徒一人ひとりの「学びの基盤」を確立し、確かな学力の育成を図る。

「学びの基盤」である「時を守り、場を清め、礼を正す」を身に付け、授業規律や規範意識を高めたうえで、日々の予習・授業・復習に主体的に取り組む生徒を育成する。また、生徒一人ひとりの学習意欲を喚起し継続させるには、生徒一人ひとりの能力や理解度を正確に把握し個に応じた課題内容や支援を行わなければならない。その為、教員は生徒一人ひとりの学習カルテを作成するなど、指導の「見える化」に積極的に取り組む。

（２）授業の「アクティブ・ラーニング化」及び「ユニバーサル・デザイン化」を推進し、効果的・効率的な授業の開発に努める。

最初に授業の流れやねらいを明確に示すことで、生徒が見通しを持って授業に取り組めるようにする。また、授業内に適宜、ペアワーク・グループワーク・調べ学習（フィールド学習を含む）・体験学習等の場を設定して生徒一人ひとりの能動的な授業参画を促し、全体での協働学習（まとめ）・ディベート・発表（プレゼンテーション）・質疑応答等を通して汎用的能力を育成する。更に、ICT機器を適宜活用することで、指導の焦点化・視覚化・時間短縮を図り、効果的・効率的な指導法の開発に取り組む。

（３）授業・特別活動・部活動・学校行事を能登高イズムで統一し、能登高ブランドを鮮明にする。

教科指導、学級指導、部活動指導、進路指導、生徒指導等、学校教育の全ては教員一人ひとりの指導力次第であり、教員の指導力がそのまま生徒の姿であるという認識のもとに、生徒一人ひとりの才能を見出して育成するため、教員は生徒観察に日々集中し、生徒の個性に応じた声掛け・動機づけ・面談等の様々な支援指導を行い、情報共有と共通理解を持って協働し組織的に取り組む。